



# お世蔵さん たより

Vol. 38  
2006. 11 月

いつもありがとうございます。  
オリジナルニュースレターを読んでいただければ幸いです。

毎いっしょに保険を選びましょうオフィス鳥越

鳥越 介 順

Happy  
11月



忙しいこの時代  
人々の思考は  
知らず知らず  
変えられている。  
まさにこれが  
Bestだと思っ  
ている

# 無駄なことも人生だ

考えみると全くムダなことでもせず、交り率よく人生を過ごし、老いを迎えて  
しまおうと……こんなつまらないことは無いと思う。  
しかし、私たちは毎日「今日もムダなく交り率よく過ごしたい」と願っている。

思い切って思考を変えて「無駄なことも人生を楽しくしている」と頭にインプ  
ットしておいて、あえてムダを楽しむ。ムダを作るような人生にしたいと思う。  
いっぱい立ち止まって、交り率の悪いこと、ムダ使い、ムダなもの集め、……  
……どうもこれが人生の楽しさのようだ。

# 面白い話



- 昔読んだ推理小説を久しぶりに読み返すとき、自分の記憶力の無さに感謝する。
- 「ここに馬車を止ら殺す」とか「馬車厳禁、ケガ一生」とかシキキに書いてあるシャッターもどうかと思うが、その前にびっちり二重馬車してあるのを見ると「ああ、ここは大阪かな」とじ〜んとする。
- 免許の更新に行きたとき、視力検査で前に並んでいた若い女性が「コ」と答えていた。「左」と答えなきゃ!
- 前を走る小さな軽トラックに「全長18m、死ぬ気で追い越せ!」というステッカーが貼ってあった。
- 「家庭の医学」は家があると安心だが、読むと不安になる。
- 「キューリー夫人から連想するものは?」というアンケートで予想通り「キュウリ」という回答が第3位に入っていた。
- 息子の小1のときの文集に「女子きなタレント」という欄があり、息子はそこに「タマリ」と書いていた。何のことかと思ったら「タモリ」だった。

# 台所のお母さん

先日、妻に教えてもらった「台所に立っているお母さんは子どもたちが話しかけやすいお母さんなのよ」と、とう言えど子どもたちが「おえおえお母さんあのお〜」とよくやって来る場面を思い出。

同じように話しかけやすいお父さんは、

「お父さんが茶の間で新聞を読んでいるとき」のようです。

私は家に居ることも少ないが、家で夕食後に子どもたちがそれぞれ活動を始めると、私もこれ幸いと我家のミニオフィスで仕事を始めてしまう。

一件無駄のようであるが、茶の間に誰がいなくても、新聞を読んでいるお父さんが居ることで、子供たちにとっていつでも話しかけに行ける環境が作られるようです。

これはひょっとして職場でも同じことかも……  
あなたは話しかけやすい環境を作ってますか……